

えひめ衛生管理者交流会

第11回

研修会

『えひめ衛生管理者交流会 第十一回研修会』が、七月二十五日(木)、愛媛県林業会館にて開催されました。県下から二十二人の衛生管理者、労働担当の方々が集い、『職場のメンタルヘルス対策・職場復帰支援対策』をテーマに活発な討議が行われました。

事例発表

トヨタ部品四国共販(株)総務部の名本理一郎さんからは「わが社のメンタルヘルス対策の取組みについて」の事例発表が行われました。

社内で行っている研修等メンタルヘルス対策への取組み、不調で休職された方が復職するにあたっての社内のサポート体制についての紹介がありました。復職時には本人と丁寧な面談を行うつつ、再び不調になることのないよう原因となりうる職場環境を整えていくことも大事にされているそうです。



総務部の中巻理恵さん

からは、総務部内で新しく立ち上げた「メンタルヘルス推進支援室」での活動について事例発表が行われました。支援室では社内でのメンタルヘルス研修を実施しつつ、不調者の相談窓口や、不調で休職される方が発生した場合の対応を行っています。現在、厚生労働省のメンタルヘルス・ポータルサイト『こころの耳』でも、「職場復帰支援の取組み事例」として紹介されています。

リワーク支援

愛媛障害者職業センターの井谷暢子障害者職業カウンセラーからは、センターで行っている職場復帰支援について説明がありました。

障害者職業センターはうつ病などにより休職中の方が職場復帰する

際に利用できる機関です。生活リズムづくり、働く力の回復、再発予防などのサポートを行って、休職中の方がスムーズに職場復帰できるように支援を行っています。詳細は【089(921)1213】まで。

グループ討議

【第1班】

第一班では、職場内でのメンタルヘルス対策の取組みについて討議を行いました。どの事業場でも何らかの対策を行っており、効果を上げているとのこと、職場復帰プログラム作成や、管理職に向けた研修の実施、不調者を発生させないための職場改善のグループ活動等の実施の報告がありました。

【第2班】

第二班では、個別の事例の対応について討議を行いました。メンタルヘルス不調者の経

過、リワークを実施しての復職支援等、実務対応を行う上での留意点が話し合われました。メンタル不調は自覚しにくいいため、周りが気づき、声かけなどして、本人にも不調を自覚してもらおうことが大事、との意見がありました。

【第3班】

第三班では、職場復帰支援について討議が行われました。職場復帰支援プログラム作成や体制の構築等は、現職の片手間ではなかなか実施が困難である、トップの理解を得ることが重要、不調者との面談はひきこまれすぎないように行うことが大事等の報告がありました。ある程度は所属の職場で問題を解決できるようメンタル研修の実施が大切、との意見もありました。

【第4班】

第四班では、休職者の対応について討議が行われました。不調者の状態は様々であるた

め、ケースに応じてサポートを行っていくが、一定の取り決めにとり対応していくことが大切、との報告がありました。休職中は休養することも大事であるが、不安感や孤独感を払しょくするために連絡を取っていくことも大事とのことでした。

【第5班】

第五班では、メンタル不調の予防対策について討議が行われました。診断書提出後の対応では遅いため、その前に予防を行いたい、ストレスチェックを実施しているが活かし方が難しい、相談窓口に行きにくい人もいるといった報告がありました。事例発表で紹介された復職に向けての計画を可視化して本人に案内する対応は良い、との意見もありました。

ご参加の皆様、お疲れ様でした。活発な意見をありがとうございました。